

「第8回スキルアップ講習会」報告

熊本市部長 東利雄

自称「世界初の寝たきり芸人」として、障がいを笑いのネタとして活動されている“あそどっぐ”さんを講師に第8回スキルアップ講習会を開催しました。40歳の“あそどっぐ”さんは、これまでの生立ちを振り返りながら、要所要所でお笑いネタを披露。笑っていいものか戸惑いを感じながらも、しだいにお笑いの中に引き込まれ、プロとして心から楽しんでもらいたいという思いで芸を披露される姿は、これまでに見たことのない世界でした。

1978年、佐賀県で生まれ、生後間もなく脊髄性筋萎縮症を発症。予後は、3歳までと言われるも現在に至り、20台後半頃より熊本県合志市でヘルパーに24時間対応してもらい1人暮らしをしているとのこと。

2012年にNHKのEテレ『バリバラ～障害者情報バラエティー～』でテレビ初出演。日本一おもしろい障害者パフォーマーを決める「SHOW-1 グランプリ」の第3回大会で準優勝。

2014年に誰でも出場ができるお笑いライブ「お笑い番長」に出場する機会を通じ、舞台となるハード面の物理的な問題は主催者や周囲の芸人がカバーし、初舞台でのお客さんの反応次第で今後の舞台活動を判断するといった主催者の「障がい者ではなく一人の芸人として対応されたことが嬉しかった」と振り返りつつスポーツ指導においても共通することではないかと話され、普通に接することが大事であることを再認識させて頂いた。

障がい者スポーツの世界とは異なる領域の講演であったが、プロの芸人として芸を磨きあげられてきた姿勢は、スポーツ指導の場面でも参考にできると感じた本当に素晴らしい講演でした。

